



第51号

平成29年7月15日発行
 日本獣医生命科学大学
 同窓会
 東京都武蔵野市
 境南町1-7-1
 発行者 中條 眞二郎
 直通電話・FAX
 0422-33-2916
 E-mail dosokai@nvlu.ac.jp
 URL http://nvlu-dosokai.
 academic-sol.com/

同窓会会則

改正に向けて

日本獣医生命科学大学同窓会会長

中條 眞二郎



平成29年も半ばを過ぎ、7月開催が恒例となりました同窓会代議員会の時期となりました。同窓生の皆様におかれましては、其々の持ち場でご精励のことと拝察申し上げます。

会員皆様には会則改正の必要性を以前から紙面でお伝えして参りましたが、会則改正委員の皆様の大変なご苦勞により本年の代議員会にご提案し、承認を頂く段階まで漕ぎ付けの事ができました。

同窓会会則は、普段あまり気に懸けるものではないのですが、同窓会は会員皆様の同窓意識の総意で成り立っている親睦団体です。

会員皆様の会費によって運営されており、会費納入が無いと組織が崩壊します。その概念を基に、会費納入者である正会員を厚遇することも基本に会則改正を進めました。

同窓会会則の歴史を紐解くと、昭和5年に学校への後援会色の強い同窓会が結成され、同時に会則も制定されましたが、時代の変遷でたびたび会則の改定が行われました。特に大きな改正は、畜産学科と畜産食品工学科を同窓会に迎え入れて数年が経過した昭和49年に、定款を会則に改正しました。当然、将来を見越した改正が必要でなければならなかったと思います。しかし、当時の役員は祖父と息子程年代が違う両学科の同窓生を、対等な同窓生として考慮できなかったと思います。昭和から平成へと時代が変わり、各学科の同窓生の数が均衡しても、獣医学科単科大学当時の会則で運営を行ってきました。会則見直しの時期を逸した感もありますが、会長職に就いて十年來改正に向けて検討を重ねて参りました。会則改定の理念については本誌でも述べてきましたが、一字一句の持つ難しさを痛感しながら検討しました。同窓生全員が諸手の賛成とは思いませんが、委員が誠心誠意頑張つて、二学部四学科の同窓会を念頭に掲げ改正した会則であります。平成29年度代議員会で新会則案の承認を得たいと思います。

同窓会から母校側に呼びかけておりました、応用生命科学部の創立記念会が開催されました。畜産学科は、昭和24年に開設されましたが、昭和31年に募集を停止、その後昭和43年に再開し70年、畜産食品工学科は、昭和42年に第二校舎で開設され、50年の節目の年を迎えました。両学科卒業生の創立記念式典・祝賀会を前年に開催する予定でしたが学科間の調整が遅れ、平成29年11月に開催することが決定されました。本紙51号にも案内を掲載しましたが、同窓会に住所が登録されている方には、母校の実行委員会から個々に案内が郵送されます。応用生命科学部の両学科の歴史を振り返り、両学科の同窓生が一同に会し、卒業以來の再会を果たす機会です。劣悪だった学生時代の施設と変貌した新しい研究室を訪問し半世紀の時間の流れを確かめて下さい。

また、先の事業となりますが、母校の140周年の企画も考えなければなりません。私立大学へ国からの補助金の支給はありませんが、経営は国に保障されている分けてはなく、次々と波のように問題が押し寄せてきます。現在母校の経営・運営をも左右する恐れのある大きな問題として、獣医学に関連することですが、母校関係者のみならず、同窓生にも関心ごとなので老婆心ながら以下の二点に触れてみます。

一点は、安倍首相が打ち出した国家戦略特区を利用した、愛媛県今治市に定員160名の大規模な獣医学部新設であります。毎日のように報道されていますが、文部科学大臣、官房長官の答弁は、国家権力がこのような無体とも言えるようなことができるのかとまざまざと見せつけています。

本学が20年來、定員増を申請しても玄関払いでした。もし、160名定員数の私立獣医学部が開校したら、歯学、薬学系と同様に獣医師過剰時代到来は明白です。母校と同規模の大学が二大学できることです。お代官様勘弁してください」と言いたいですね。規制で守られてきた獣医師数は、私立5獣医科大学ばかりでなく、全国の多くの獣医学部に携わる方々が打撃を受けることは明らかです。交通の利便性だけで受験生を集められる時代ではありません。魅力のある大学にするには、特区のことで内閣府が出した4条件、「既存の獣医養成とは違う構想が具体化」、「ライフサイエンスなどの新分野の獣医師の需要」、「既存の大学では対応困難」、「四番目は「獣医師の需要」です（某新聞抜粋）。この4条件は、現実にそぐわない点があります。

獣医志望の受験生は、獣医師の資格を取得することであり、現在は地方においても交通の発展、生活環境に不便を感じません。学生生活は武蔵境が一番だなどと安穩としている時代でなく、同窓生が見ても獣医師資格を得るだけなら、都会に拘らず北海道だろうが、四国の今治にも足を向けます。本会報が皆さんに届く頃にはどのような進展になっているのか心配するところです。

二点目は、獣医学部の整備をし、第三者評価による認証を取得することが不可欠です。しかし、母校の懸念事項は基準協会が示す教員の確保と、大動物の臨床施設の二点が認証を得るための困難事項になっています。学校法人の経済状況を考慮すると協会の示している条件の教員の増員は出来ません。他の私立獣医系と同様に他学科の協力を得て必要な教

員を増員は出来ません。他の私立獣医系と同様に他学科の協力を得て必要な教

員数を確保し、大動物は牧場施設を整備する等、先生方の知恵を絞り、認証が得られないと大学でなく、専門学校扱いの評価になると言われています。どうか、同じ獣医師の資格も大学で取ったのか専門学校で取ったのかの違いになることは避けなければなりません。全学一致協力し、評価の高い大学となるようお願いいたします。

平成 29 年度同窓会

代議員会開催が決定

平成 29 年度同窓会代議員会は、平成 29 年 7 月 29 日（土）に母校 E 棟、第 111 講義室に於いて、午後 1 時より開催が決定しました。

代議員会に先立ち、午前 10 時 30 分より理事・監事会が開催されます。

本会報が御手元に届く頃には、代議員の方々へ御案内が届いていると思われれます。

代議員会終了後、母校に於いて懇親会を開催致します。ぜひ御参加ください。

事務局だより

同窓会ホームページの URL は本会報一面に掲載しています。会員の各種集案案内などホームページに掲載します、利用して下さい。

同窓会本部への連絡

土・日・祝日を除く午前 10 時から午後 4 時まで勤務しています。留守番電話、ファクシミリ、郵便、Eメール等にも受け付けます。連絡先は本会報一面に記載しています。

会費納入のお願い

本会の事業は、会員の会費によって運営されています。会費納入は支部一括納入と個人納入法があります。今年度の納入方法については次の会報 52 号にてご案内致します。郵便会社の振り替え用紙が必要な方は本部事務局まで連絡してください。

母校付属動物病院との連携動物病院の申請

連携動物病院登録申請手続きの窓口は同窓会事務局となっています。詳細については同窓会ホームページの案内、あるいは同窓会事務局へお問い合わせ下さい。

支部総会、同期会、各種 O.B.O.G 会開催について

開催予定や開催報告をホームページや会報に掲載致します。掲載依頼は Eメールでお申し込みし、報告の写真は JPEG でメールに添付してください。会報へ掲載希望が多数の場合には、初投稿を優先いたします。

住所変更届けのお願い

本会報は、平成 29 年 6 月 1 日までに同窓会本部事務局へ変更届けがなされた住所に、本部事務局より直接お送りしています。届かない同窓生は、住所の変更（市区町村番地変更を含む）あるいは住所登録がありません。会報の届かなかった同窓生へは本部事務局へ住所登録をするよう伝えて下さい。登録用紙はホームページから印刷して下さい。

次に該当される同窓生は本部へ連絡を願います

他大学で学位をこの一年内に授与された同

窓生。国会議員、市町村長、市議会等へ選出・再選された同窓生。叙勲を授与された同窓生。ご逝去された同窓生など。連絡は情報提供者を特定できる電話以外の方法にてお願いします。

同窓会関係情報

（本部に届け出のみを掲載）

○叙勲者

平成 28 年秋・旭日双章
杉谷 篤志氏（大学 15 期）

○計報

斎藤 茂芳氏 同窓会顧問（専門 7 期）
平成 29 年 1 月 10 日

斎藤氏は、昭和 22 年日本獣医畜産専門学校を卒業され、昭和 57 年より平成 28 年 7 月まで 30 余年間の長きに渡り本会の重鎮として御活躍されました。平成 28 年 7 月に同窓会顧問に就任され、同窓会の指図役として期待されておりました。

内海 一潔氏 山口県支部長（専門 9 期）
平成 29 年 4 月

古川 研一氏 大阪府支部長（大学獣医 9 期）
平成 29 年 4 月

大学祭に同窓会ブースを開設します

今年も大学祭期間 11 月 4 日から 5 日の午前 11 時から午後 4 時まで同窓会ブースを開設します。ご来場の際はお気軽に御立ちよりください。

平成 28 年度福岡県支部総会開催報告

平成 28 年度福岡県支部総会を、平成 29 年 2 月 25 日（土）に福岡市中央区天神「平和楼本店」にて開催しました。当日は 18 名の支部会員が出席しました。



平成 28 年度京都府支部総会報告

去る平成 29 年 3 月 11 日、福知山「柳町」において同窓会会長の中條真二郎先生にお越し頂き、支部総会と懇親会が開催されました。長谷川支部長の挨拶に始まり、中條会長の挨拶と大学および同窓会の現状のお話し頂きました。総会議案として、吉田修前事務局から平成 27 年度事業報告および会計報告があり承認されました。次に事務局から平成 28 年度事業報告および会計報告の途中経過について報告されました。

続いて平成29年度事業について討議されました。清水副支部長の閉会の挨拶を持って総会が無事終了いたしました。

総会終了後、懇親会が開催され、会開始に先立ち、今回も吉田修氏の尺八伴奏で校歌を歌いました。自己紹介のあと和気藹々と歓談し、中條先生から母校の現状報告がありました。今回の会場の「柳町」は鴨すきが名物のお店で、楽しい話と美味しい料理で有意義なひと時を過ごすことができました。

出席者・高橋秀雄（大学6期）、長谷川修一（大学10期）、大槻一倫己（大学11期）、藤江博征（大学15期）、高橋昭雄夫（大学20期）、内藤雅夫（大学13期）、清水弘司（大学14期）、吉田修（大学16期）、芝常照（大学25期）、中村仁（大学39期）、人見誠（大学40期）、山田昭彦（大学45期）、加藤あかね（大学46期）の13名でした。



平成28年度長野県支部総会報告

事務局 伊藤

支部総会には、中條会長にご出席を頂き有り難うございました。鳥インフルエンザ対応等により、当初の予定より参加人員は少なくなりましたが、11名の会員が出席しました。（獣医学科9名、食品学科1名、畜産学科1名）開催場所：松本市ホテルニューステーション



三重県支部総会開催報告

事務局 小川尚久

平成29年5月14日 津市ホテルグリーンパークにおいて総会が執り行なわれました。決算報告、審議事項等が無事に終了した後、来賓の中條会長からご挨拶を頂き、続いて懇親会が開催されました。出席者は11名で少し寂しい状況でしたが、会長の軽妙な語り

で武蔵境の昨今のお話して盛り上がりました。話題の中心は総会への出席者が減る傾向に歯止めがかからないことでした。

他県の支部はもとより他大学でも支部への出席率が非常に悪いと聞きます。最近の若い人は同窓会等の寄合いを敬遠しがち……だからしょうがない。になりがちですが、このままいけば支部運営に影響が出かねない状況で、大学が新入生を集める努力をされているように、同窓会も大学と一緒に同窓会の繁栄に動くべき時期が来たかもしれない。そんな話を自戒の意味も込めて語りあつたしだいです。

今後とも同窓会の発展、繁栄に努力する所存ですので、宜しく願っています。今回、三重県支部総会開催にあたり同窓会より中條会長にご出席頂き、また事務局の皆様のご協力を頂き心より御礼申し上げます。



熊本県支部より

全会員の皆様へ感謝

同窓会熊本県支部会員一同

昨年熊本の震災に際しましては皆様の暖かいお心づかいありがとうございました。改めてお礼を申し上げます。

因みに、平成28年の熊本県は1月の豪雪、4月に前震、本震とダブルパンチの熊本震災、これに続く土石流災害の発生、7月には阿蘇市における大火、10月には阿蘇山の大噴火、そして、極めつけは12月の鳥インフルエンザの発生と息つく間もないほどに災禍多き年でした。今年こそは、心穏やかな平安な日々が過ごせるよう念じております。

皆さま方から頂戴しました御厚志は、昨年11月26日の支部総会の席上中條会長ご臨席のもと、有り難く頂戴しました。お礼が、大変遅くなりましたが、災禍多き年であったことに免じてお許しただきたいと思っております。今後とも皆さま方の変わらぬ暖かいご支援ご厚情をお願いしましてお礼とさせていただきます。



獣医学科17期同期会博多で開催

連絡担当幹事 伊藤 隆

毎年恒例の獣医学科17期会（昭和44年3月卒業）は昨年の11月13日（日）～15日（火）の日程で、九州博多にて開催しました。当日は博多中洲のホテルに集合し、隣の吉塚うなぎ店で懇親会を行い、2日目以降は貸切観光バスで周辺地域の観光を楽しむといったパターンで進められた。

今回の開催は東北仙台にて東日本大震災の見舞いを兼ねて実施する運びにあります。

今回の参加者は予定より少なく14名であったことから、古希を迎え、過ぎた節目の同期会の開催方法や今後のあり方等について全員に意見を募り、次回以降参考にしていこうと考えています。



獣医学科26期同期会を博多で開催

幹事 最所 正光

獣医学科26期同期会（昭和53年卒）は、すべての同期生が還暦以上になりました。

二年に一度、各地で開催しています。今回は福岡県在住の担当で平成28年11月19日（土）にホテルセントライザ博多で開催しました。

当日は、北は秋田、宮城、南は沖縄から33人も同期生が参集しました。また福岡で開業されている、内科の講師だった三谷節夫先生にも恩師として出席して頂きました。

卒業以来初めて再会した人たちも多く、二次会まで楽しく・懐しく昔話で大いに盛り上がりかしました。次回、二年後の会は仙台での開催が決定しました。次回も、多くの同期生と会えることを楽しみにしています。



動物科学科創立70周年および 食品科学科創立50周年記念行事の開催について

応用生命科学部長 天尾 弘実

同窓生の皆様には、日頃より本学・応用生命科学部の活動に種々ご協力を頂き、誠に有難うございます。

応用生命科学部は、動物科学科（旧畜産学）と食品科学科（旧畜産食品工学科）の構成で、平成15年に新設されました。両学科の歴史を辿りますと、動物科学科は昭和22年の日本獣医畜産専門学校・畜産学新設から、今年で70周年を迎えます。一方、食品科学科は昭和42年の日本獣医畜産大学・畜産食品工学科新設から、今年で50周年を迎えます。即ち、両学科ともに今年度は節目の年を迎えたこととなります。そこで、同窓生および関係の皆様方とともに御祝いを致したく、同窓会と共催で下記の要領で記念行事を催すことになりました。ホテルでの開催案もありましたが、ここ12年間で大学の装いが大きく変わりましたので、皆様方にご覧いただきたく、大学内での開催と致しました。現在、両学科・各11研究室は、平成26年3月16日竣工のE棟にすべて集約されております。即ち、3年前に動物科学科はD棟（旧新館）から、食品科学科は創立以来47年目にして第二校舎から、新しい校舎へと移動となりました。余談ですが、平成28年3月には、阿久澤大会長はじめ両学科の教員を中心とした実行委員会の運営により、「第121回日本畜産学会」が新校舎を使用して開催され、好評を博しました。

記念行事は第一部ではE棟1階講義室で記念シンポジウムを、第二部ではA棟アリーナ（現在、入学式と卒業式が開催される場所です）で祝賀会を開催致します。記念シンポジウムでは、両学科の歴史を振り返るとともに、両学科の現状と未来、さらには同窓生の講演も計画しております。祝賀会では、両学科ならではの食材も用意する予定です。皆様方には、学生時代を思い出し和やかに歓談して頂きたいと思っております。手作りの会ではあります。本学部の教職員総出で迎えたいと思っております。お誘いあわせのうえ多くの同窓生が参加して頂ければ幸いです。何卒宜しくお願い致します。

また、記念誌も作成致しますので、掲載可能な懐かしい写真をお持ちの方がおられましたら、ぜひ御連絡をお願い致します。最後になりましたが、本会を開催するにあたり同窓会より協賛金を頂くことになりました。実行委員会一同、心より御礼申し上げます。

記念行事開催日程

期日：平成29年11月11日（土）

場所：本学第一校舎

・記念シンポジウム；

E棟1階111講義室

・祝賀会；A棟2階アリーナ

お問い合わせ先：

amao@nvl.ac.jp

母校学位取得者一覧 (平成28年6月～平成29年5月)

学位取得者
大学院課

【応用生命科学専攻 修士取得者】

Table with 3 columns: 氏名, 学位授与年月日, 所属研究室. Lists graduates like 桑井 和奈, 佐藤 巧, etc.

【獣医学専攻 博士取得者】

Table with 3 columns: 氏名, 学位授与年月日, 所属研究室. Lists graduates like 新井 清隆, 神田 秀憲, etc.

【獣医保健看護学専攻 修士取得者】

Table with 3 columns: 氏名, 学位授与年月日, 所属研究室. Lists graduates like 石井 聡子, 加藤 由比子, etc.

【獣医保健看護学専攻 博士取得者】

Table with 3 columns: 氏名, 学位授与年月日, 所属研究室. Lists graduates like 小野沢 栄里, 高橋 知也, etc.

【応用生命科学専攻 博士取得者】

Table with 3 columns: 氏名, 学位授与年月日, 所属研究室. Lists graduates like 影山 敦子, 長谷川 悦子, etc.

お詫びと訂正：会報49号の学位取得者の博士取得者一覧と修士取得者一覧の表示が逆になっておりました、お詫びし、訂正をお願いします。

母校近況

一、教員人事

(平成28年11月23日から平成29年6月2日まで)

○新任(平成29年4月1日付)

准教授

柴田 昌宏(動物栄養学)

助教

鈴木 周二(臨床獣医学部門治療学分野II)

小林優多郎(食品化学)

○新任(平成29年5月1日付)

助教

小野沢 栄里(獣医保健看護学臨床部門)

助手

関 瀬利(付属動物医療センター)

○再任(平成28年12月1日付)

特任教授

清水 一政(獣医学部)

○再任(平成29年5月1日付)

特任教授

山田 裕(獣医学部)

○昇任(平成29年4月1日付)

教授

田中 良和(疾病予防獣医学部門衛生・公衆衛生学分野)

石岡 克己(獣医保健看護学臨床部門)

松藤 薫子(英語学)

准教授

氏家 誠(病態獣医学部門感染症学分野)

百田 豊(獣医保健看護学臨床部門)
奈良井朝子(農産食品学)
三浦 孝之(乳肉利用学)

講師 高野 貴士(疾病予防獣医学部門衛生・公衆衛生学分野)

常盤 俊大(病態獣医学部門病態解析学分野)
小田 民美(獣医保健看護学臨床部門)

助教 彌吉 直子(付属動物医療センター)

○退職(平成28年12月31日付)
准教授 松原 孝子(獣医保健看護学臨床部門)

○退職(平成29年3月31日付)
教授 西村 敏英(食品機能化学)

ギター部OB・OG会開催します

初めてのOB・OG会を開催します。平成29年11月4日(土)午後12時に母校本館同窓会ブースに集合。事前の申し込みが必要です。(当日は大学祭期間中で同窓会ブースが開設されています)詳細については、下記まで問い合わせください。

幹事：吉田 修(獣医16期)
電話：075-871-3400まで
〒616-8126
京都市右京区太秦相ヶ本町5-7

平成 29 年度 入試結果 教務・学生課

平成 29 年度入学試験の結果は表のとおりである。志願者数は 3、898 名（昨年度比 95・4％）となった。

次に、一般入学試験の志願者数をみると、第 1 回の志願者数は 1、852 名（昨年度比 91・3％）、第 2 回の志願者数は 632 名（昨年度比 85・5％）であり、いずれも昨年度から減少した。また、センター試験利用入学試験（第 1 回）の志願者数は 1、169 名であり、昨年度に比べて約 90 名（108・6％）増加した。

平成 29 年度入学試験は、インターネット上で出願を行う Web 出願を全面導入し、紙の願書を廃止したほか、獣医保健看護学科において指定校推薦入試を導入した。
平成 30 年度入学試験では、動物科学科においてセンター試験利用入学試験（第 2 回）を実施する。

平成 29 年度入学者数	
獣医学科	99 名
獣医保健看護学科	126 名
動物科学科	100 名
食品科学科	92 名
合計	417 名

平成 29 年度試験区分別入学試験結果

平成 29 年度学科別地区別入学者数

学部	学科	試験区分	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
			H29	H29	H29	H29
獣医学部	獣医学科	[推薦] 一般公募推薦	81	77	23	3.3
		[特別選抜] 社会人	2	2	0	0.0
		帰国子女及びIB取得者	3	3	1	3.0
		獣医師後継者育成及び地域獣医療支援	8	8	3	2.7
		学士	12	12	1	12.0
		センター試験利用（第一回）	579	557	39	14.3
		一般（第一回）	1,023	904	137	6.6
		一般（第二回）	413	361	3	120.3
		合計	2121	1924	207	—
		[推薦] 一般公募推薦	65	64	27	2.4
	[推薦] 指定校推薦	1	1	1	1.0	
	センター試験利用（第一回）	214	211	84	2.5	
	一般（第一回）	315	308	125	2.5	
	一般（第二回）	80	74	5	14.8	
[編入学] 編入学	1	1	0	0.0		
合計	676	659	242	—		
学部合計	2797	2583	449	—		
動物科学科	[推薦] 一般公募推薦	31	30	25	1.2	
	[推薦] 指定校推薦	5	5	5	1.0	
	センター試験利用（第一回）	255	253	100	2.5	
	一般（第一回）	328	317	162	2.0	
	一般（第二回）	82	73	33	2.2	
	合計	701	678	325	—	
応用生命科学部	食品科学科	[推薦] 一般公募推薦	18	18	15	1.2
		[推薦] 指定校推薦	12	12	12	1.0
		センター試験利用（第一回）	121	120	50	2.4
	センター試験利用（第二回）	5	5	4	1.3	
	一般（第一回）	186	178	123	1.4	
	一般（第二回）	57	54	8	6.8	
	[編入学] 編入学	1	1	0	0.0	
	合計	400	388	212	—	
	学部合計	1101	1066	537	—	
総合計	3898	3649	986	—		

学部	学科	地区	入学者数	合計
獣医学部	獣医学科	北海道	3	99
		東北	0	
		関東甲信越	68	
		北陸	3	
		東海	8	
		近畿	7	
		中国	1	
		四国	4	
		九州・沖縄	4	
		その他	1	
	北海道	1	126	
	東北	2		
	関東甲信越	107		
	北陸	0		
東海	5			
近畿	3			
中国	3			
四国	0			
九州・沖縄	5			
その他	0			
動物科学科	動物科学科	北海道	2	100
		東北	3	
		関東甲信越	86	
		北陸	0	
		東海	5	
		近畿	2	
		中国	1	
		四国	0	
		九州・沖縄	1	
		その他	0	
	北海道	1	92	
	東北	0		
	関東甲信越	87		
	北陸	1		
東海	0			
近畿	0			
中国	0			
四国	1			
九州・沖縄	1			
その他	1			

平成29年度 入学式

学生支援センター

平成29年4月4日(火) 午前10時から「日本獣医生命科学大学入学式」がアリーナ(体育館)において、学校法人理事、日本医科大学関係者、同窓会役員、父母会役員など、多数の来賓を招き執り行われた。



獣医学専攻博士課程7名、獣医保健看護学専攻博士前期課程7名、同後期課程2名、応用生命科学専攻博士前期課程7名、獣医科学99名、獣医保健看護学科126名、動物科学科100名、食品科学科92名の合計440名が入学した。
新入生紹介に始まり、阿久澤学長式辞、坂本理事長・中條同窓会会長の祝辞を頂戴した後、同窓会及び父母会から記念品が贈呈された。引き続き武蔵野賞、櫻賞の授与式があり学歌斉唱後閉会した。

平成30年度 入学試験

入試区分	学 科	日 程
推薦・特別選抜 (学士を除く)	全学科	平成29年12月3日(日)
センター試験利用	全学科	平成30年1月13日(土)～平成30年1月14日(日)
一般	第1回 獣医学科	平成30年2月5日(月)※
	第1回 獣医保健看護学科・動物科学科・食品科学科	平成30年2月6日(火)
	第2回 全学科	平成30年3月15日(木)

※獣医学科の一般(第1回)は、1/13・1/14に実施されるセンター試験を一部利用します。

平成29年度 オープンキャンパス

学 部	日 程
全学部	平成29年7月9日(日)
全学部	平成29年8月19日(土)
全学部	平成29年10月1日(日)
獣医学部	平成29年11月4日(土)※
応用生命科学部	平成29年11月5日(日)※

※11/4・11/5 は医獣祭と同時開催

お問合せ TEL: 0422-31-4151 入試広報センター

平成30年度 入学試験 オープンキャンパス情報 入試広報センター

平成28年度 学位記授与式

学生支援センター

平成29年3月9日(木)午前10時から、日本獣医生命科学大学「平成28年度学位記授与式」がアリーナ(体育館)において挙行された。授与式には、学校法人理事、日本医科大学関係者、母校名誉教授、同窓会役員、父母会役員、亜細亜大学学長など、多数の来賓を招き執り行われた。



大学院の学位記授与者については、大学院獣医学専攻博士課程修了者及び論文審査合格者7名、獣医保健看護学専攻博士前期課程修了者及び博士後期課程修了者11名、応用生命科学専攻博士前期課程修了者及び博士後期課程修了者7名の合計25名。学部学位記授与者については、獣医学科90名、獣医保健看護学科103名、動物科学科97名、食品科学科87名の合計377名に学位記が手渡された。引き続き阿久澤学長式辞、坂本理事長・中條同窓会長の祝辞を頂戴した後、学長賞、櫻賞、獣医師会褒賞、同窓会長賞の授与があり、同窓会、父母会の記念品贈呈、卒業生代表挨拶のあと学歌斉唱後閉会となった。

平成28年度学生表彰

学生支援センター

学長賞、公益社団法人日本獣医師会褒賞、同窓会長賞は最終学年を対象として選出され、武蔵野賞は各学年から選出される。また、櫻賞は課外活動において優れた成果を収めた個人又は団体に贈られる。授与については、最終学年は学位記授与式にて表彰され、在学生は入学式にて表彰された。

学長賞

獣医学科	6年	藤原 万里子
獣医保健看護学科	4年	武井 和奏
動物科学科	4年	大木 妙子
食品科学科	4年	菅野 究
社日本獣医師会褒章		
獣医学科	6年	池田 絃子

同窓会長賞

獣医学科	6年	鈴木 清文
獣医保健看護学科	4年	中村 枝里香
動物科学科	4年	沖 裕一郎
食品科学科	4年	小島 彩子
櫻賞		
動物科学科	4年	柳原 奈央子

武蔵野賞

獣医学科	2年	漆山 尚也
獣医学科	2年	佐藤 玲奈
獣医学科	2年	林 浩輝
獣医学科	3年	江藤 由佳
獣医学科	3年	河西 晴子
獣医学科	3年	佐々木 ねむ
獣医学科	4年	上玉利 成美
獣医学科	4年	高木 香奈
獣医学科	4年	木田 萌子
獣医学科	5年	柴 舞華

獣医学科	5年	島野 翔太朗
獣医学科	5年	宇賀神ひかる
獣医学科	6年	三木 香南
獣医学科	6年	山下 諒
獣医保健看護学科	2年	丸山 夢翔
獣医保健看護学科	2年	松本 朱莉
獣医保健看護学科	2年	関根 俊
獣医保健看護学科	3年	本橋 篤
獣医保健看護学科	3年	木村 理花
獣医保健看護学科	3年	赤堀 由起恵
獣医保健看護学科	4年	中井 涼子
獣医保健看護学科	4年	八尋 大河
獣医保健看護学科	4年	鈴木 智貴
動物科学科	2年	杉浦 麻世
動物科学科	2年	稲垣 朋伽
動物科学科	2年	寺田 えりか
動物科学科	3年	市川 みのり
動物科学科	3年	笹 詩絵里
動物科学科	3年	高田 莉緒
動物科学科	4年	樋口 香子
動物科学科	4年	甲斐 小百合
動物科学科	4年	柳泉 桃子
食品科学科	2年	根本 香穂
食品科学科	2年	高野 結花
食品科学科	2年	甲斐野 仁美
食品科学科	3年	真弓 佳奈子
食品科学科	3年	新井 紘平
食品科学科	3年	智田 遼
食品科学科	4年	横井 七奈
食品科学科	4年	松原 諄
食品科学科	4年	赤石 幸
櫻賞		
空手道部		吉田 将汰
第1回 医獣祭実行委員会 委員長		鈴木 璃子

平成28年度 梅野信吉賞受章者決定

選考委員長 食品科学科教授 中山 勉

梅野信吉賞は、本学に在籍する専任教員を対象に、顕著な研究業績をあげ本学の荣誉に貢献した教員（教授は除く）を顕彰する制度である。

今回、公募を行った結果、獣医学科臨床獣医学部門の藤原重紀講師と獣医保健看護学獣医保健看護学臨床部門の森昭博講師より応募があり、当該選考委員により応募調査書を基に審議した。その結果、応募者の業績はどちらも大変優れており、何れも甲乙付け難いことから、両名を平成28年度梅野信吉賞受賞者とすることを決定した。

藤原講師は平成21年3月に母校獣医学科を卒業後、東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程獣医学専攻へ進学、獣医内科学教室 辻本元教授に師事し、平成25年3月に博士の学位を取得した。同年4月より母校獣医放射線学教室に助教として着任し、平成28年4月に講師に昇進した。現在は学生教育に従事する一方で、医療センターにおいては腫瘍内科・呼吸器科・放射線科を担当し、臨床現場で直面した疑問点から研究テーマを考案し「臨床現場に還元すること」を目的としている。今回、受賞テーマは「犬と猫の悪性腫瘍における臨床応用を目的とした集学的研究」である。

「概要」犬と猫の悪性腫瘍に関する研究は急速に発展しているが、臨床研究と基礎研究が直接つながる研究は多くなく、ほとんど

別々に行われている。そこで、分子生物学的手法を用いて犬と猫の悪性腫瘍の病態解明を目的とした基礎研究を実施した。特に人医療で創薬開発が盛んに行われている「エビジェネティクス分野」に関する研究は、獣医療では非常に新規性が高く、創薬への応用が期待されている。藤原講師は得られた結果から新規検査法を探索し、診断・治療反応検査法として臨床症例に応用した。さらに臨床研究を進展させることにより、主に放射線治療の副作用が少ない新規プロトコルに基づく治療法を確立した。



森講師は平成18年3月に母校獣医学科を卒業後、母校大学院獣医生命科学研究所 獣医学専攻博士課程にて獣医生理化学教室 新井敏郎教授に師事し、平成21年3月に博士の学位を取得した。同年4月から母校獣医保健看護学臨床部門に着任した。付属動物医療センターでは内分泌科の診察を担当し、臨床にフィードバックできる研究の実現を目標としている。受賞テーマは「明周期が猫の皮下脂肪の遺伝子発現に与える影響の検討」RNAシークエンス法を用いて」であり、平成24

年からアメリカイリノイ大学に留学した際の研究成果である。

「概要」健康猫を用いて2回の12週の期間を短日（8時間の明期・16時間の暗期）、もしくは長日（16時間の明期・8時間の暗期）にランダムに振り分け、それぞれの明期での12週目において皮下脂肪より脂肪細胞バイオプシーを行い、RNA抽出後、専用のプライマーでPCRを行い、RNAシークエンスを行った。結果として短日飼育下での猫の脂肪組織において上昇した遺伝子は、細胞の成長や分化にかかわる遺伝子、細胞の発生や骨格に関わる遺伝子、蛋白のプロセッシングやユビキチン化に関わる遺伝子などがあつた。一方、短日飼育下での猫の脂肪組織において低下した遺伝子は、免疫機能に関わる遺伝子および炭水化物や脂質代謝に関連する遺伝子などがあつた。本研究は猫にRNAシークエンスという新しい遺伝子解析技術を用いた世界で初めての研究である。



梅野信吉賞の授賞式は平成28年4月4日学長室で挙行され、阿久澤良造学長から賞状および副賞（同窓会贈呈）が贈られた。

学生会員だより

動物保健看護学体験実習

獣医保健看護学 1年次 虻川 実菜

（母校牧場より「継・いのち」175号より一部転載）

5月8日から盲導犬の訓練をしている静岡県富士ハーネスと、山梨県の富士アニマルファームへ牧場実習に行ってきました。

初日に行った富士ハーネスでは、盲導犬がどういう方法で目の不自由な方のお手伝いをしているのか実演を交えて教えていただきました。

富士アニマルファームでは、普段触れ合う機会が少ない大型動物を相手に学び取ることがたくさんありましたが、中でも印象に残ったのは牛の搾乳です。普通に牧場へ行って体験できる搾乳とは違って、酪農家さんがおこなっている方法で搾乳させていただいたのですが、乳頭をきれいにするのにいくつか段階がある上に、動く牛相手に四苦八苦しました。その他にも牧場作業として牛に餌を与えたり、自ら手綱を握って指示を出して乗馬をしたりと、普通ならできない貴重な体験をたくさんさせていただきました。

今回の実習で得た知識を生かし、今後とも大学での勉強に励みたいと思います。



平成28年度 獣医師国家試験について

獣医学科長 小山秀一

第68回獣医師国家試験は、平成29年2月14日（火）、15日（水）に実施され、その可否結果が3月10日（金）に公表された。受験者総数は1,296人（新卒1,028人）であり、合格者は全体で1,000人であり、新卒者の合格は899人であった。合格率は全体で77.2%であり、新卒者は87.5%、既卒者は38.0%であった。昨年の全体の合格率78.8%、新卒者88.0%、既卒者47.9%と比較しほぼ同様の結果であった。

大学別の合格者数および合格率は表の通りであった。本学は、新卒受験者80人中74人が合格し、合格率でみると全国の新卒者合格率（87.5%）を上回り92.5%であり全国1位の合格率であった。既卒者も22人受験し9人（40.9%）が合格し合格率では全国平均を上回った。

区分	大学名	第68回		
		受験者数	合格者数	合格率
新卒者	北海道大学	38	33	86.8%
	帯広畜産大学	42	35	83.3%
	岩手大学	36	33	91.7%
	東京大学	31	25	80.6%
	東京農工大学	38	35	92.1%
	岐阜大学	30	27	90.0%
	鳥取大学	40	36	90.0%
	山口大学	30	26	86.7%
	宮崎大学	26	23	88.5%
	鹿児島大学	33	27	81.8%
	大阪府立大学	45	40	88.9%
	酪農学園大学	138	124	89.9%
	北里大学	132	117	88.6%
	日本獣医生命科学大学	80	74	92.5%
	日本大学	138	112	81.2%
	麻布大学	151	132	87.4%
	新卒者数計	1,028	899	87.5%
	既 卒 者	258	98	38.0%
	受験資格認定者	10	3	30.0%
	予備試験合格者	-	-	-
合 計	1,296	1,000	77.2%	

獣医師国家試験に向けて、本学では6年前から学生が前年度の国家試験問題を各研究室に持ち帰り分担し解説を作成するとともに、これまで引き継がれてきた日獣大国家試験問題集の見直しを行っている。そして、6年後期に総合獣医学（4単位）として、国家試験科目に関する対策授業を行い、国家試験に準じた模擬試験（学生作成）1回と本試験（教員作成）2回を実施している。また、学生を1班14〜16名の6班に分け、学生相互によるグループ学習による国家試験対策を行っている。この他、6年後期には学生からの要望に応じ、若手教員、大学院生および研究生の協力の下、土曜学校と称した実地試験対策授業も行っている。

今後も学生の意見を取り入れながら、より学生にとって充実した国家試験対策が行えるよう、教員側も協力し一人でも多くの学生が獣医師として巣立っていただけるよう努力していく所存です。

平成28年度卒業生就職状況

キャリア支援センター 副センター長

清水謙一

平成28年度の卒業生就職状況の特徴は、二年連続で政府方針の就職活動スケジュールに変更があり、より『短期決戦』になったことです。3月1日広報活動開始（所謂エントリー解禁）、6月1日採用活動開始（内々定出し解禁）という、活動期間が最短3カ月で終了してしまうものです。一部の学生は業界研究不足やエントリー数が増やせず苦戦している姿も散見されました。そんな中、本学の学生達は各々に頑張つて立派な成績を残してくれました。学科別（4月末現在）では獣医学科98.6%、獣医保健看護学科100%、動物科学科100%、食品科学科98.8%と大学学部生全体で就職希望者321名中319名（99.3%）が各々希望先に就職できました。

学科別の内訳ですが、獣医学科では、本学最大の強みである「小動物獣医師」に54%が進み人気の高さを伺えました。また農林水産省を含む「公務員獣医師」15%、NOSA Iなど「産業動物獣医師」14%と分散傾向がありました。東京動物園協会の獣医師に2名が採用されたのは近年顕著なところですが、獣医保健看護学科では、動物病院の「動物看護師」49%と就職者の半数が就職する学科の特徴が生かされています。その他、医薬品・食品製造業10%、衛生検査・治験業界10%と高い数字を示しています。また大学院への進学者も多く本学を初め国立大学へ9名が進学しました。動物科学科では就職者のうち、食品・医

薬品製造業23%と最も高く人気の業界となりました。動物・生命科学の知識を生かせる衛生検査・治験業界13%、畜産農業団体9%が就職しました。東京動物園協会等飼育員にも2名就職でき難関を突破しました。また大学院への進学者が特に多く14名が本学を初め国立大学の大学院へ進学しました。食品科学科では雪印メグミルクを初め人気の食品メーカーが35%を占め、商社卸・外食産業を含めると食品製造・流通関係で59%と多くが就職しました。近年、食品衛生学の知識が活かせる検査分析・衛生サービス業に就職する比率が高まり12%ありました。平成28年度は『短期決戦』で厳しい就職戦線ではありましたが、各種就職ガイダンスに協力頂いた外部団体の方々、キャリア支援委員の先生方の協力を賜り成果を上げることができました。これから『キャリア形成の質保証』を追究するキャリア支援センターは、就活生と向き合つて最後まで二人三脚で精一杯取り組んで参ります。今年度も後輩就活生に向けたOBOG皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

本学新卒・既卒者の採用依頼について

採用を依頼される場合は、キャリア支援センターまでご連絡ください。

電話：0422-31-4151（代）
担当：渡邊、清水